

[バドミントン]

ヨネックスオープンに木村・梨木ペアが出場

10月10日から15日まで国立代々木競技場第一体育館で行われたヨネックスオープンジャパン2006に、木村綾(経営3・金沢向陽高)・梨木春花(商3・金沢向陽高)ペアが出場した。

この大会は日本で行われる唯一の国際大会で、賞金総額18万ドルは国際バドミントン連盟認定のグレードで最高の五つ星。毎年世界中から多くの世界ランク上位者が出場する。2人は「まずは予選通過。100%の力を出し切りたい」と臨んだものの予選1回戦敗退に終わった。大会を振り返り「会場の独特の雰囲気緊張したが、ナショナルチームの選手を相手に気負わずプレーできた」(梨木)、「世界の強さを実感でき、良い経験になった」(木村)と話した。

秋季関東大学リーグ戦4位

関東大学バドミントン秋季リーグ戦が9月16日から24日まで日体大米本記念体育館で行われ、専大は2勝3敗で早大と並んだが、ポイント差で4位となった。

新ルールとして導入されたラリーポイント制について、田中里実主将(商4・埼玉栄高)は「一本の重要さが、競るにつれて大切になると思います」と語る。「新しいペアで臨んだが、みんなの頑張りが勝利につながりました。特にエースの木村と井上(春奈=商1・埼玉栄高)が頑張ってくれました」と振り返った。

(松原 弘和・法1)

[レスリング]

世界戦に出場 — 北村（中国）、荒木田（グアテマラ）

9月25日から10月1日まで、中国の広州で世界選手権が行われ、男子フリースタイル120kg級に北村克哉（商3・日本工大付属東京工高）が出場。初戦で昨年3位の選手と対戦し、惜しくも敗れた。

「世界のトップ選手のパワーは予想以上で、組んだ時に大きなプレッシャーを感じた」と北村。アテネ五輪王者のアーチャー・タイマゾフ選手（ウズベキスタン）と練習する機会もあり、「世界のレベルを肌で感じることができ、収穫もあった」と話す。「さらなる体力アップに取り組み、技術面も向上させたい。いずれは国際大会で必ず良い成績を収めたい」と語った。

また、9月2、3の両日、中米・グアテマラのグアテマラ市で世界ジュニアレスリング選手権の男子フリースタイルが行われ、120kg級に荒木田進謙（経済1・光星学院高）が出場したが初戦敗退に終わった。

（清水 智之・ネット情報3）

[ゴルフ] 関東女子大学秋季対抗戦

追い上げて2位

関東女子大学秋季対抗戦が9月20、21の両日に那須ゴルフ倶楽部で行われ、2位という好成績を収めた。

初日を4位で折り返した専大は2位とはわずか2打差。メンタル面での成長著しい彼女たちは当然あきらめていなかった。このモチベーションの高さが今年のチームは一味違う。「『絶対に2位以内に入りたい』とみんなで話し合い2日目に臨んだ」と話してくれた西村麻衣主将(商4・麻生高)。2日目は上位4人が80を切る好スコアで3位以下を大きく引き離した。「11月の全国大会(信夫杯)に向けて価値ある2位。チームが一つになって結果を残せたのでうれしい」と喜びをあらわした。

また、男子の関東大学秋季対抗戦(9月26、27日、サンヒルズカントリークラブ)は5位に終わった。

(澤田 和輝・法3)

[剣道] 関東学生優勝大会

健闘！3位に

91校が出場し、7人1組の団体戦で争う関東学生剣道優勝大会が9月10日、日本武道館で行われ、剣道部が3位に輝いた。

1、2回戦を危なげなく突破し、3回戦へ。流通経済大に苦戦を強いられ2—2で並んだが、総本数5—4で辛勝。続く準々決勝では日体大に3—2で勝利したが、準決勝で中大に敗れた。

出場選手全員が勝利を挙げたが中でも在本悠作(法3・西大寺高)、嶋津貴之(経済1・安房高)の2人がポイントゲッターとして活躍した。濱地佳祐主将(経営4・福岡大附属大濠高)は「部員一丸となって試合に臨み、9年ぶりのベスト4進出を果たすことができ、うれしいです。今後も全日本学生(10月29日、大阪府)に向けて頑張ります」と話した。



▲3位入賞を果たした団体戦メンバー

[卓球] 秋季関東学生リーグ戦

男子4位 原、徳増に優秀選手賞

女子2部2位 トン主将は特別賞

秋季関東学生卓球リーグ戦が9月14日から18日まで駒沢屋内球技場で行われ、男子が3勝2敗で1部リーグ4位、女子は4勝1敗で2部リーグ2位となった。

男子個人では全試合に出場し、全勝した徳増信弥(経済1・杜若高)が敢闘賞を、原雅彦(商4・青森山田高)、徳増が優秀選手賞を獲得。また、1年次生から活躍してきた原、女子のトン舟主将(商4・中越高)が特別賞を受賞した。

【男子】入れ替え戦という屈辱を味わった春季リーグを経て「どん底からはい上がったことで、精神的に強くなった。どんなに練習がつらくても音を上げず、ついてきてくれた」と小山武典主将(経済4・柳川高)。今大会は初戦で早大に敗れるも、中大、駒大に快勝。続く明大戦も勝利し、優勝へ望みをつないだが、最終日、埼玉工大に敗れた。

【女子】開幕から連勝したが、第3戦で日体大に3―4で惜敗。これが響き、入れ替え戦進出はならなかった。

※トン=にんべんに冬

(橋本 麻未・経済3)

[テニス] 女子テニス・関東大学リーグ戦

後半盛り返し3位

女子の関東大学テニスリーグ戦が9月13日から29日まで、東京都立川市の昭和の森テニスクラブで行われた。早大、亜大に連敗する厳しいスタートとなったが、その後盛り返し、青山学院大、筑波大、日大を連破し3勝2敗の3位でリーグ戦を終えた。主務の間中ひろみ(経営4・共栄学園高)は「学生王座に出るつもりで臨んだので悔しい。しかし、連敗から話し合い、雰囲気を変えることができたのは良かった」と話した。また、男子は3勝2敗で2部リーグ3位に終わった。

[フェンシング] 関東学生新人戦

女子フルーレ団体で優勝

関東学生フェンシング新人戦が9月28、29の両日、駒沢屋内球技場で行われ、女子がフルーレ団体で優勝。また、個人でも女子サーブルで長井有理(法1・水橋高)が優勝を飾るなど、各種目で上位入賞を果たした。

そのほかの主な入賞者は次の通り。【フルーレ個人】森美奈子(経済1・翔陽高)=2位、本間絵里佳(文1・今別高)=4位、阿部美樹(文1・今別高)=5位【エペ個人】本間=6位

森口メモリアルゴルフ

浜島照佳氏が優勝

9月19日、「森口メモリアルゴルフ大会」が川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催された。34回目を迎えた今年は大学関係者、体育会の卒業生ら87人が参加。浜島照佳氏（昭41法・ゴルフ部OB＝写真）が優勝旗を手にした。



[陸上競技]

箱根駅伝 目標は6位以内 21日予選会

第83回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会が10月21日、東京都立川市国営昭和記念公園で行われる。午前8時30分、立川市自衛隊駐屯地内をスタートし、立川市街地の一般道を北へ。国営昭和記念公園に北側の砂川口から入り、園内の小刻みなアップダウンがあるコースを周回する。

本選出場を果たすためには9位以内に入る必要があるが、6位以上と7位以下で順位の決定方法が異なる。各校12人が20キロを走り上位10人の合計タイムで6校を決定。残り3校については第85回関東インカレの成績に基づくポイントを加算して順位を決定する。専大は関東インカレでの入賞はなかったが、種目エントリーの総人数が10人以上だったため2ポイント=20秒が差し引かれる。

加藤覚監督は「長谷川淳(経済4・専大松戸高)、座間紅祢(商3・藤沢翔陵高)の両エースをはじめ、急成長の1年次生にも期待が持てる。目標は6位以内」と語る。夏期合宿を経てチームの状態は絶好調。ケガ人が復帰し、チームもまとまりを見せている。「予選突破は選手の気持ち次第」と加藤監督。長谷川は「みんなが全力を出し切れば予選会は通過できる。調整をしっかりとって全力で走る」と意気込みを語った。

今年度も箱根で専大の“禪”が見たい。選手全員が万全のコンディションで予選会に挑めば通過は期待できる。3年連続63回目の出場を目指す専大を応援しよう!!

(有馬 利香・商2)



▲予選会を間近に控え、練習にも熱がこもる(多摩川土手で)(撮影=松本)

リーグ戦途中経過

※10月13日現在

◇アメリカンフットボール部

▽関東大学リーグ戦Bブロック=2勝1敗

◇準硬式野球部

▽東都大学秋季リーグ戦=5勝3敗

◇サッカー部

▽関東大学リーグ戦=2勝8敗5分

◇バレーボール部

▽秋季関東大学男子2部リーグ戦=3勝1敗

◇バスケットボール部

【男子】▽関東大学リーグ戦=0勝10敗

【女子】▽関東女子学生リーグ戦(2部)=9勝0敗

◇ラグビー部

▽関東大学リーグ戦(2部)=2勝0敗